

かきつばた (Rabbitear Iris) 通信

かきつばたの花言葉は「幸福は必ず訪れる」です

Ohana サマーキャンプ 2023 が
開催されました

ほほえみの会総会が
開催されました

去る6/24~25、4年ぶりに Ohana サマーキャンプが開催されました。お天気も、梅雨の晴れ間の快晴に恵まれ、総勢120名の当事者、家族、医療者が山中湖に集いました。脳神経外科石崎先生の「サプライズ“ジャンポリミッキー”」には子どもたちもおおはしゃぎ！翌日のレクリエーションでも、子どもたちの熱いアンコールにお答えして、もう一度みんなで踊りました。COVID-19でお祭り騒ぎに飢えていた子ども達もご家族も医療者も、笑っぱなしの2日間となりました。今回、開催会場となったビレッジ花月園さんの多大なご協力により、すべて貸し切りで子どもたちが自由に遊ぶことができました。

Ohanaでは来年も同時期にサマーキャンプを開催するそうです。来年も元気な皆様にお会いできることを楽しみにしています。



▲石崎先生のジャンポリミッキーは大好評！



ほほえみの会総会が開催されました。COVID-19流行以降は、オンラインによる定例会を開催してきましたが、総会は久しぶりに会員が集う集合開催となりました。今回の総会は「病気をもつこどものきょうだい支援」として、入院中のこどものきょうだい保育についてディスカッションが行われ、面会中のきょうだいの不安に寄り添ってあげられなかった現状や、治療終了後のきょうだいへのメンタルケアなど、家族の立場だからこそわかる「きょうだいの問題」について議論が交わされました。また病院や県のこども未来課担当職員も参加し、院内のきょうだい保育施設設立に向けての嘆願も提示されました。

小児がん拠点病院の指定要件として「面会中のきょうだいを保育する施設があることが望ましい」という項目があります。また最近新聞でも「病気のきょうだい」に関する記事が連載で取り上げられました。両親にとって「病気のこども」と「きょうだい」のことを同時に思いやるのは、とてもエネルギーがいります。それぞれに役割を分担し、きょうだいへの愛情表現を心がけていても、きょうだいたちは寂しさ、プレッシャー、怒り、悲しみ、無気力といった混沌とした思いを抱え込みやすいです。きょうだいの問題がクローズアップされている今、病院としても迅速にこの問題に取り組まなければならないことは明白です。ぜひ、ご家族からも声をあげていただければ幸いです。

イベントのお知らせ

「ほほえみの会」定例会
毎月第二日曜日 11時~オンラインにて
「若者のためのピアサロン」
8月5日 院内大会議室他にて
「小児・AYA世代がん医療公開講座」
2024年1月20日開催決定！

小児がん相談室編集後記

少しずつ、COVID-19流行前の世の中に戻ってきましたね。しかしRSウイルス、ヘルパンギーナ、インフルエンザといった元来一定に流行する病気が一気に増えてきました。ご家族にとっては、新たに流行兆しを見せる感染症に不安を感じていると思います。でも今まで通り、手洗い、うがいといった基本的な衛生行動が大事であると同時に最も有効な手段です。今後もしっかりと行きましょう
かとゆ